



2014年12月10日

SCSK 株式会社
日本電気株式会社

SCSK と NEC、仮想テープ装置領域で協業を強化 ～メインフレーム向けに「HSVT3」の販売を開始～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役会長兼CEO:中井戸 信英、以下 SCSK)は、高信頼、高拡張、低コストのバックアップ環境を実現するメインフレーム向け仮想テープ装置「HSVT3 (エイチエスブイティースリー)」の販売を12月10日から開始します。

「HSVT3」は、日本電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長:遠藤信博、以下 NEC)のグリッド・ストレージ技術をベースとした重複排除ストレージ「iStorage HS シリーズ」と Optica 社(注)が開発した仮想テープ装置コントローラー「zVT」を組み合わせ、SCSK がメインフレーム向け仮想テープ装置として販売します。

1. 背景

近年、ディスクストレージの大容量、低価格化が加速しています。それに伴い、テープ装置が主役であったバックアップシステムは、利便性の高いディスクストレージへと置き換わっています。しかし、メインフレームにテープ装置を使用したバックアップシステムを構築している場合、ディスクストレージへの置き換えは、導入コストがネックとなり、容易ではありません。また、運用の変更にはソフトウェアの追加導入や、お客様要件に合わせたカスタマイズが必要となり、膨大な追加コストがかかります。

2. 「HSVT3」の概要・特長

「HSVT3」は、テープ装置使用時の運用を変えることなく、より高速にデータを処理できるという、ディスクストレージのメリットを享受できます。また、「HSVT3」は、データのバックアップやアーカイブの用途において、データ圧縮・重複排除機能により、ディスク容量の効率化を図ることができます。これにより、テープライブラリ並みの低コストを実現します。さらに、機器障害が発生した場合でも暗号化したデータを遠隔地のバックアップセンターへ転送し、データの消失を防ぎます。従来のテープ搬送方式では盗難・紛失リスクがありましたが、「HSVT3」ではレプリケーション機能により、安全かつ高速な災害対策を実現します。

「HSVT3」は、メインフレーム環境だけではなく、オープンシステム環境のデータバックアップにも利用できるため、お客様のプライベートクラウド基盤における、統合バックアップストレージとしても適用が可能です。

3. SCSK と NEC の役割

SCSK は、メインフレーム用仮想テープ装置およびバックアップストレージの市場拡大を目指し、お客様の重要なデータを保護するソリューションを提供してまいります。

NEC は、「iStorage HS シリーズ」に関する技術情報の提供や技術支援体制の構築、専任要員の育成を行います。

4. 販売目標

SCSK は、今後 3 年間で「HSVT3」を 50 システム販売する計画です。

(注) Optica Technologies Incorporated について

Optica（本社：米国コロラド州ルイスビル、CEO：GREG L. COLLINS）は 1967 年の設立以来、長年メインフレーム関連のソリューションを開発・販売してきたメーカーです。今回、新たに開発した「zVT」には、その豊富なノウハウが活かされています。

SCSK は 2011 年に Optica と代理店契約を締結し、メインフレーム用 FICON to ESCON コンバーター「Prizm」を日本国内で提供してまいりました。

HSVT3 製品情報ホームページ <http://www.scsk.jp/product/common/hsvt3/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK 株式会社

IT エンジニアリング事業部 ストレージネットワーク部 原島、立野

電話：03-5859-3024

（受付時間 9：30～12：00 13：00～17：00、月曜日～金曜日（祝日を除く））

Eメール：stnw-support@ml.scsk.jp

日本電気株式会社

プラットフォームビジネス本部

電話：03-3798-9740

（受付時間 9：00～12：00 13：00～17：00、月曜日～金曜日（祝日を除く））

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK 株式会社

広報部 栗岡

電話：03-5166-1150

日本電気株式会社

コーポレートコミュニケーション部 江澤

電話：03-3798-6511

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。